

# ～第12回定時社員総会参考資料～

## 2 令和4年度事業計画 ～夢と希望の明日へ～ (1/4)

### 1 はじめに

多摩市シルバー人材センター(以下、「センター」と称す。)は、平成23年4月に公益社団法人に移行し、それ以降11年の実績を重ねてきました。高齢者の社会参加促進と生きがい増進を図るといふ、高齢者事業団発足当初の役割を引き継ぎつつ社会変化に対応し、派遣事業への参入及び拡大、市の広報配布業務の受託とそれを契機にした地域組織の機能的再編、市の指定管理者制度導入に対応した民間企業との包括協定締結等、組織力を結集し事業実績につなげました。

その成果は、未曾有の世界的パンデミックともいえるコロナ禍の令和3年度において、過去5年間で最高の実績(6億131万9千円余り)となって結実しています。また、全国的に会員数が減少傾向にある中で、会員数についても積極的な広報活動等により大きく伸ばしており、令和4年3月末現在1,286人で、5年前との比較では52.0%の大幅な増となりました。

令和2年度及び令和3年度は、緊急事態宣言やまん延防止措置が発令される中で、センターとしての方針を「センター緊急事態宣言」等で明確化し、会員及び事務局における感染防止、会費及び保険料の免除、歴月就業ゼロの就業会員へ就業期間の延長措置、郵送による入会手続きや公開就業募集、感染発生時の危機対応などに取り組んできています。

平成29年度から5年間の「中長期計画(後期)」の目標値(会員数1,177人・事業実績4億7千739万円、就業率95%以上)に対する達成状況については、会員数及び事業実績が目標を大きく上回ったものの、就業率は、会員数の増加に就業開拓が追い付いていない状況で未達成となっています。会員が増加している中で、就業開拓が今後の重要課題に位置付けられます。なお、事業実績の公共・民間の比率は、最近では民間比率が高い傾向になっていますが、令和3年度は、市の防災政策の時限的事業である家具転倒防止器具取付業務の受託により公共の割合が高まりました。

### 2 センターを取り巻く環境と課題

令和2年国勢調査人口等基本集計結果によれば、全国の65歳以上の高齢者の割合は28.6%で、前回の国勢調査結果から2ポイント上昇しました。多摩市においては29%で国を0.4ポイント上回っており、前回の国勢調査から2.5ポイント上昇し、国を上回る高齢化が進展しています。

一方、健康寿命を表す指標である東京保健所長方式「65歳の健康寿命(要介護2)」は、都内上位から男性が2位・女性が5位(令和2年)で、要介護認定率については、都内49市区自治体で最も低い割合(平成30年度データ)となっています。元気に年を重ねている高齢者が多いことも多摩市の特徴です。

# ～第12回定時社員総会参考資料～

## 2 令和4年度事業計画 ～夢と希望の明日へ～ (2/4)

今後、我が国の人口構成から、超高齢社会の中で、労働力不足に対応する高齢者雇用の延長や派遣事業の拡大とともに、元気な高齢者の多様な就業ニーズへの新たな対応が求められます。また、高齢化、単独世帯の増加等をもたらす市民生活への影響から、市民生活に関わる多様な手助けを必要とする状況も生まれてきています。センターは公益社団法人として、高齢者の経験と知恵を活かして、こういった社会環境の変化に就業を通じて的確に伝えていくことで、地域に貢献していく必要があります。

## 3 令和4年度の事業計画

### (1)令和4年度の基本方針

令和4年度は、新たな「中期経営計画」のスタートの年度です。今後の5年間を展望して重点的な取組を進めていくための指針であるこの計画は、変化する地域の社会環境に的確に対応し、高齢者の働く機会を健幸づくりに結びつけさらに地域の活性化につなげようというものです。

健幸会員（健康と幸せを日々実感しながら活動する会員）と地域の多様なお客様を結ぶ好循環を生み出す未来に向けて、着実な一步を踏み出す年度として「中期経営計画スタートダッシュの年度」と位置づけ、以下の4つの大方針の実現に向け取り組みを進めます。

- ①お客様に選ばれるセンターになる
- ②働きたいシニアに選ばれるセンターになる
- ③重篤事故を未然に防ぐ仕組みをつくる
- ④持続的に成長可能な経営基盤をつくる

### (2)令和4年度の目標値

令和4年度の目標値は「中期経営計画」の達成目標値(令和8年度達成目標)を踏まえ、以下の通り設定します。

- ・会員数 1, 315人以上
- ・契約金額 5億8,933万5千円以上  
(請負 4億8,234万5千円・派遣1億699万円)
- ・就業延人員 97,380人日  
(請負79,635人日・派遣17,745人日)

### (3)重点事項

令和4年度に取り組む重点事項は、中期経営計画の経営計画中で提示した取り組みを踏まえ、当面、優先的・重点的に取り組む必要のある次の事項とします。なお、中期経営計画の着実な推進のため、事務局及び理事組織について再構築し、体制を整備します。

- 就業開拓の推進
- 会員へのサポート体制の整備
- 安全な就業環境の整備
- インボイス制度への対応
- 理事活動の活性化

# ～第12回定時社員総会参考資料～

## 2 令和4年度事業計画 ～夢と希望の明日へ～ (3/4)

- 中期経営計画を推進する事務局及び理事の体制整備

### (4)主な取組内容

#### ①お客様に選ばれるセンターになる

現在、センターの会員数は、全国でも高い伸び率を示しており、それに対応する就業機会の確保が大きな課題となっています。そのため、シニア層を対象にした労働環境の変化を見据えながら、最重要課題として、組織をあげて就業開拓に取り組みます。これまでセンターが培ってきた高齢者就業支援の経験・実績に立脚し、より多くのお客様にセンターの認知度を上げる取り組みを進めるとともに、お客様にとって利用しやすいサービスの構築、就業品質の向上に傾注します。

- ◇ 就業開拓員やデジタル技術を活用した就業開拓活動の実施
- ◇ 会員の技術向上研修の充実及び同職種の業務水準の確保
- ◇ 現場と事務局をつなぐ指導員活動の充実

#### ②働きたいシニアに選ばれるセンターになる

未だに収束見込みが立たないコロナ禍の中、会員の経済的負担の軽減のため、令和4年度においても会費・保険料を免除していることや、緊急事態宣言及びまん延防止措置発令中は入会手続きを簡略化していることもあり、会員は増加傾向にあります。一方、会員のニーズは多様化しており、これまでのような一律的な就業機会の提供方法だけでは、センターに所属する強い動機として成り立たなくなっています。引き続き、会員募集のPRを継続しつつ、会員ニーズの多様化に対応できるセンターを目指して環境整備を進めます。

- ◇ 広報、Web、チラシ等を活用した広告活動
- ◇ 働きやすい環境整備（最低賃金の確保、ワークシェアリング、高齢者に合わせた仕様調整等）
- ◇ 未就業会員へのフォロー活動の充実
- ◇ 会員同士の研修会や勉強会の充実

#### ③重篤事故を未然に防ぐ仕組みをつくる

加齢による様々な機能の衰えに向き合って就業している高齢者にとって、安全と健康は全てに優先する事項です。重大な災害や事故には至らなかったものの、それに直結してもおかしくない一歩手前の出来事を収集・分析することで、未然に大きな危機や事故を防ぐ有効な活動に繋がります。あわせて、健幸就業を目指して会員の自己管理能力を高め、危険予知や高齢者の機能維持につながる生活習慣に着目した情報提供に取り組みます。

- ◇ シルバー保険賠償保障額のレベルアップ
- ◇ 会員保険料のセンター負担の実施（免除）
- ◇ 熱中症及び新型コロナウイルス感染症防止対策
- ◇ それぞれの仕事におけるKY（危険予知活動）の推進

# ～第12回定時社員総会参考資料～

## 2 令和4年度事業計画 ～夢と希望の明日へ～ (4/4)

- ◇ 安全に着目した会員の技術向上対策（運転講習、剪定作業・刈払機講習、AED講習等）

### ④持続的に成長可能な経営基盤をつくる

本計画を推進するにあたり、公益三法に基づく公益法人として、組織目的・機能及び特質を踏まえ、持続的に成長する組織を目指します。そのためには、コンプライアンスとガバナンスに立脚した経営に取り組み、理事活動を活性化するとともに、事務局機能を充実し、環境変化に効率的・効果的に対応できるよう体制及び組織整備に着手します。あわせて、時代の要請でもあるインボイス制度導入、ICT化の推進に組織的に対応していきます。長い間、老朽化が課題であった和田施設については、和田ワークプラザⅡとして新たなページを開いていきます。

- ◇ リモート対応等の事務局のICT環境整備
- ◇ 就業先端末の使用状況を分析した適正化（重点化）
- ◇ オンライン活用による迅速・適正な規程管理手法の導入
- ◇ インボイス制度導入対応及び会費のあり方の検討
- ◇ 専門的な顧問による法人サポート
- ◇ 新たな就業拠点の利用開始